

感染症が問いかける 人間社会のあり方

グローバル・ジャスティス研究会
2020年5月23日(土) / 梅小路公園
(文責：後藤裕己)

【プレワーク】

考えてみよう!

- ワークシート④記入
- 話題提供(30分)
- 討論
- 考えは変わったことは？

(出典)：開発教育協会（DEAR）教材
『新型コロナウイルス感染症と
わたしたち』

<http://www.dear.or.jp/books/book01/2645/>

- アクティビティ 4
『これからの世の中』
- 新型コロナウイルス感染症
に対するさまざまな気持ちを「未来を変えていく力」
に変えられるよう、「わたしが変えたいと思うこと」
という視点を持って、コロナ後（ポスト・コロナ）の
世の中を考えます。

SARS-CoV-2 が問うもの / 人間社会そのもの

・ **事後に出来ることは限られる** (事後：感染症が発覚してから)

発覚後：感染防止には「人との接触を避ける」など医学的には明らか

(接触制限 → 3密になる行為ほど、最も人間的で重要なことが多い！)

↗ **強化すると・・・死者減 / 影響大**(無医・無福祉死、飢餓・貧困化、差別、暴力・・・) / 尊厳？

COVID-19 拡大防止措置

→ 強化-軟化を繰り返すと → **長期化** → 死者を増やし、社会的・心理的悪影響により貢献

↘ **無視・軟化・・・感染増 / 感染爆発** (死者：人口の0.1～10%) → 医療 & 社会崩壊

【ワクチンは効果疑問(RNA 1本鎖V)、事後でないとなれない(年単位)、副反応、耐性・凶暴化促進？】

※ → 経済的支援・補償も額が限られる上に、より格差を拡大しかねない・間に合わない

→ いずれも、以前からある問題がより深刻(**格差・貧困、過労・失業、差別、医療・福祉、育児、教育・・・**)

不要不急？：本当に不要産業なら、普段から不要な経済活動が多い！？

(一般経済活動：必要な産業より、儲かる産業へ → 不要で有害な産業にシフト)

【**個々の個体にとって最善が、全体では最悪！** / 環境制約や過当競争など】

☆ **普段から不足する業種がより必要・困窮**

問題の本質 / どう捉えるか

- **人災と考えると** → 「**感染症に強く、持続的で公平な社会**」が可能に
(但し、社会・経済システム変更必要、政策・技術のみの対応は逆効果も)
- **ウイルスが悪い**と思うと・・・
感染者の差別、ヒトの過剰反応の被害、ウイルスの逆襲(耐性)・副反応
- **ヒトの所為にすると** (特定の個人・個々の国など)・・・
 - 認めない・経済優先：放置 → 感染爆発 → 死者激増 → 社会崩壊 ↓
 - 他人の所為：対策・協力を弊害 → 被害拡大 → 社会崩壊・内戦 ↓
 - 他国の所為：紛争 / 生物兵器疑惑 → 防衛を口実に侵略戦争
→ 無実国の反撃・集団安全保障 → 全面戦争 → **絶滅・地球破局**

ウイルスに動じない社会とは？ 【描く】

- 少しの労働で「健康で文化的な最低限度の生活」／ **仕事減らして分配**
現在の**1/2~1/4の労働時間で、そこそこの生活** ／ 社会的問題の多くが解決可能に
 - **ワークライフバランスなど、選択の多様化** ／ 金儲けに邁進も
 - 多様な時間選択：育児・介護・ボランティア・文化活動等の確保 → **社会的意義向上**
 - バカンスの集中化 → 避暑・避寒など季節移動 → 冷暖房減 (プロ以外の芸術活動)
- **医療**、育児、介護・福祉など**緊急時必要：3倍の余裕** → 普段は国際援助に+医療マネージャー等
 - 国際協力ネットワーク → 発症地での早期発見・封じ込め → 情報で早期に国内対策+国際信頼
 - 国内に少ない症例 → 国際的知見や医療技術の向上・育成 → 国内にも還元
- **有害・不要産業**、金融賭博産業の**積極的削減** ／ 環境破壊的ムダと建設的余裕（現在と逆）
- コンパクトな街づくり・職食住接近(徒歩+自転車距離)／人口分散／**地域自産・自立化**
 - 交通環境負荷の軽減、更なる時間確保／非常時：**地域ぐるみの隔離**（経済影響小）
- **避難施設の快適化**（避難も楽しく）・余裕化 → 普段時：文化活動や野外活動、ボランティア育成
- 保育・育児の多様化・**子どもの居場所**(保育のグループホーム・親子で保育所)／／学校にの余裕
- 無知の知（不明を前提とした対応・制度／未然防止／最悪回避）

… と、私は思います。

ウイルスに脆弱な社会 / 互いに関連! 現象より背景

- **環境破壊**(森林、汚染、温暖化など)・野生生物の**持ち出し**・持ち込み
- ヒトや物の**移動**の過多・無配慮(病原体や外来種の拡散)
- 格差・貧困・医療格差 / 差別 (← **侵略・支配**)
- 貧困輸入・移民・難民 (← **戦争、経済的暴力・搾取**)
- 都市への**人口集中・人口増加** / 家畜の**過密**(人に感染するウイルス)
- 環境加害・不要産業の増加(社会的**必要性と利益性の乖離**)
→ **政治や経済学の支配**(合法的賄賂・雇用による洗脳と人質・・・)
- ストレス社会・余裕のない経済の仕組み※ (← **利子・賭博経済**)
※ 限界まで膨らんだ風船 → 破裂(破局)
- 異端者の排除・迫害 / 感染者の差別・いじめ (→ 潜伏化 → 感染貢献) ↖
- 学校による洗脳・人質 / 子どもの居場所のない社会 / (← **情動的暴力**)
- 薬剤・ワクチン? → 副反応 / **凶暴化**の可能性も・・・

感染症の防疫

／ 侵略的**外来種**対策と基本的に同じ

- 現地から出さない：**自然の保全** ／ 早期発見と国際協力による封じ込め
- 初期：**水際対策**(**徹底排除**／隔離・治療)とゾーニング(非流入地域／非感染地域の遮断)
- 以後：**拡大抑制**：隔離とゾーニング(ホットスポット／病的弱者の優先遮断・隔離)

☆**感染者と非感染者の仕分けは不可能!** (を前提とした事前対応／**遮断しても快適!**)

- すべての医療機関、福祉サービス等を感染防止対応可能に
- 非感染域の優先遮断、階層的な遮断 (ex.国→地域→県→市→村落) ができる仕組み／人口分散
- 経済の自立・自産化(水、食料、空気の自給)、必要な物資の在庫、余裕のある経済の仕組み
- 避難所(隔離所)の快適化・常設化・量的充分化・分散化、備蓄も!
- 子どもの居場所の多様化、保護者・保育グループまるごとの居場所・生活可能空間の確保
- 障害者・ASD、環境被害者、犯罪加害者、依存症患者、LGBT等々と積極的にかかわれる社会に
- 学校の余裕化、無関係者とかかわれる様に／学校で家庭教育・社会教育、家庭で教科的学習
- ……

SARS-CoV-2 に感謝を！！

- もっと**強毒性、感染速度・感染力**の強い感染症が直接来たら・・・
→ いつ来ても不思議はない
(死者数を選択できる社会 と あまり強くないウイルスによる混乱！)
- ウイルスや細菌類のほとんどが無害／必要不可欠な微生物も多い
- ヒトのDNAの1/3～1/2は、ウイルス由来：共生化の歴史
- 病毒性 ≡ 進化の可能性 / ex.有胎盤への進化もウイルス在っての
- 「感染症との戦いの歴史」とされるが、深刻化させたのは、
→ 環境破壊、戦争・侵略・搾取(移動)、差別・奴隷化・貧困化の歴史
- 恐れれば差別(坊主袈裟)に、悪用(誤誘導)され / 理解と尊敬が社会の進化へ
- 感染者は貴重な存在(医療貢献、相対的安全、進化・・・)

「感染症に強く、公正で持続的な社会」に変えてから、もっと感謝！

(補足) ウイルス ? / 生物 or 非生物 (生きるとは?)

- 何者? : 良く分かっていない / 進化のオルガネラ (細胞小器官) / 病原になるのは極一部
- 大きさ : 10~100nm (細菌の1/100~1/10) / 1 μ m (1000nm) 近い巨大ウイルスも
- 形状 : 様々 : 20面体、ボール、コロナ(仮)、棒状、絡んだ紐、着陸船型...
- 構造 : 殻(カプシド) + 核酸(RNA/DNA、1本鎖/2本鎖、) / エンベローブ、スパイク、足...
- 存在 : 真核生物、古細菌(アーキア)、細菌(バクテリア)、巨大ウイルス、
/ 水、陸、空中、深海、土中~地下深く
- 分類 : 第4ドメイン? : 群 / 目 / 科 / (亜科) / 属 / (亜属) / 種 / 株
- 起源 : 仮説 : V・ファースト / 共進化・泡理論 / 還元・縮退 / 脱出・流浪 / キメラ...
最終共通祖先に感染していた? / 比較的最近(福岡伸一)

生き物とは :

- ①境界に囲まれている、②代謝をしている、③自己複製する、④進化する。

(補足)日本の感染者が少ない？／対策？

【推定】

- **本当に少？**：検査数が少↓ ／ 死者数は？：判定されない死者の数は…
 - **認識前**：広がりが遅い
 - ①日本人の習慣(ハグや社交など↓、言葉や対面での議論↓、食習慣：ビュッフェ・大皿など↓)、
普段の衛生意識・マスク↑、家屋(土足↓)、宗教の集会↓、?密度・空調、/?交通混雑↑
 - ②グローバル化度↓：島国・物理的障害↑、移民・難民・外国人就業者↓、観光客との3密は限定的
 - ③ウイルスの毒性度(形の違い:L/S)
 - ④医療の底辺層(感染対策・設備・技能)レベル↑、?待機時間↑・数↓ ／ 国民皆保険
 - ⑤免疫力：風邪などの近いCoV感染↑ ／ BCGは？：注)感染拡大中は逆効果
 - **認識・対策後**：日本の対策は緩い？ ／ にも関わらず↓ ?：減り方は緩い！
 - ①認識・対策前の感染者数が少ない
 - ②医者へ行くのを控えた ／ 福祉サービスの停止・減少
 - ③認識前・対策前と同事情 + 臆病、差別、監視・密告 + ?クラスター対策±
-
- 対策効果／集団免疫： 欧州(西伊仏英)感染者25万人×20倍≒人口の1割未満：感染爆発前
 - ワクチンの効果は疑問：再感染？／感染力・感染速度：中、幅：中～大、毒性・致死率：中

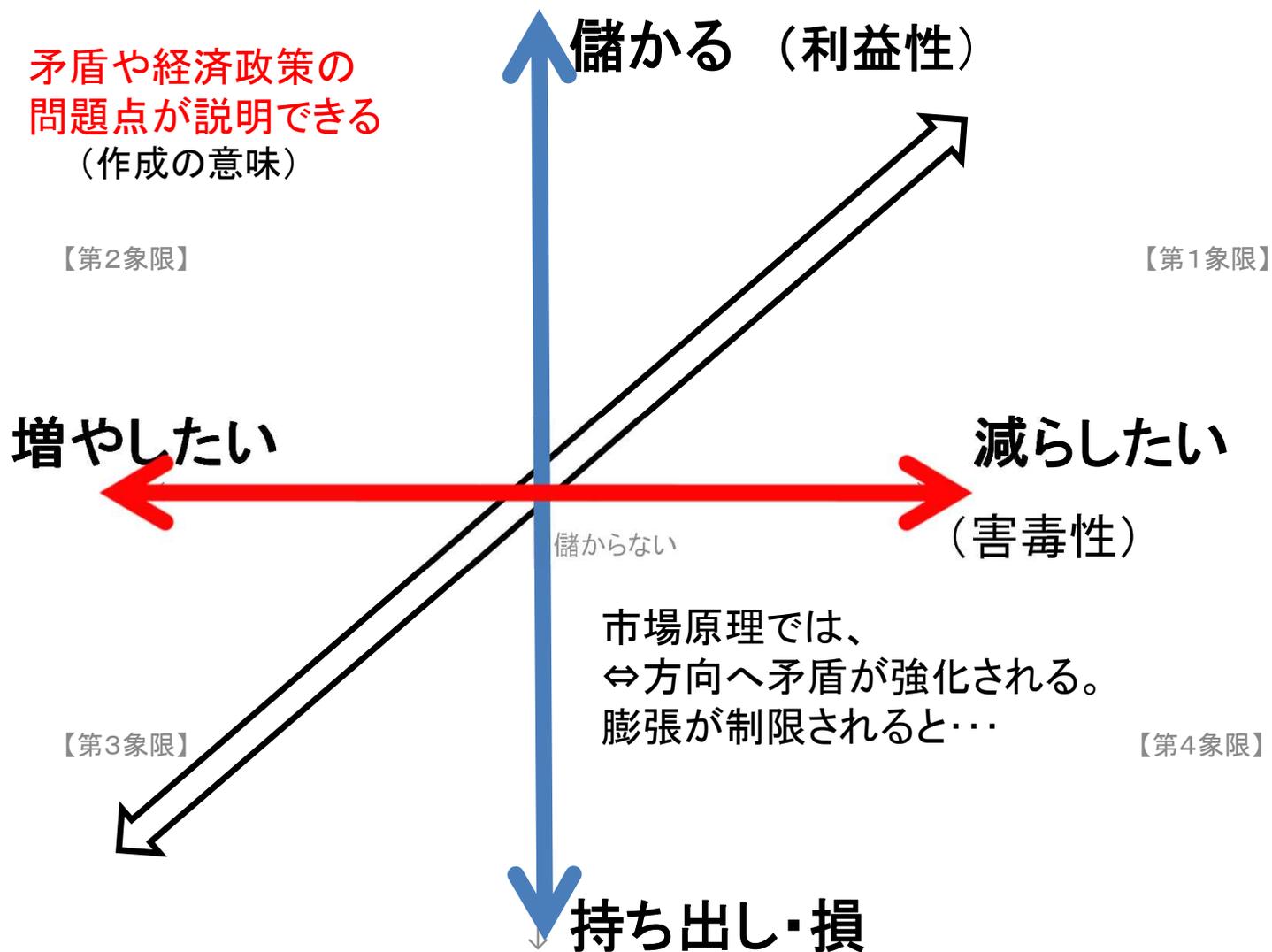
(補足)「感染症との戦いの歴史」とされるが… / 背景？

- 紀元前429～427「アテネの疾病」(腸チフスor発疹チフスor…)：アテネの人口の1/4～1/2が死亡
← 人口過密と戦争による食料・水不足 ← **森林資源をめぐる戦争** ← 植民地支配 ← **森林破壊** ← 文明
- 1347年黒死病(ペスト / 出血熱ウイルスという異論も)：
欧州人口の1/3(世界:7500万～1億人)死亡：海上貿易が盛ん、港町から内陸へ
← 気候寒冷期による**不作、農奴・貧困化** ← **キリスト教による侵略と森林破壊・耕地化**
- 1509～1529年「アメリカ大陸先住民」(天然痘、麻疹(はしか))：←死亡2000万人？
← **飢餓・過酷な労働** ← 奴隷化 ← 欧州人による**侵略・虐殺** ← 資源・領土獲得 【↓】
- 1852～1860年「コレラ」など：←ロンドンだけで1万人以上 ← 汚染された飲み水・不衛生・密集
← 工場労働者化(過労) ← 産業革命、植民地支配・戦争、**奴隷貿易** ← 先住民「奴隷化・飢餓 + 感染死」
- 1918～1919年「スペイン風邪」(インフルエンザ)：世界人口の1/3感染、死亡2000万～5000万人？※
/ ※解熱剤が悪化を促進との説も
← 塹壕戦・食糧不足 ← 第一次世界大戦(戦車・航空機・毒ガス・潜水艦)
← 工業力を背景にした**軍拡競争、軍事同盟** ← 植民地を巡る謀略 + **爆薬**(ノベル)
- 1960～:HIV/エイズ • 2003:SARS • 2012～:MASR • 2014～:ジカ熱 • 2015～エボラ出血熱
- 2015～麻疹(はしか)…

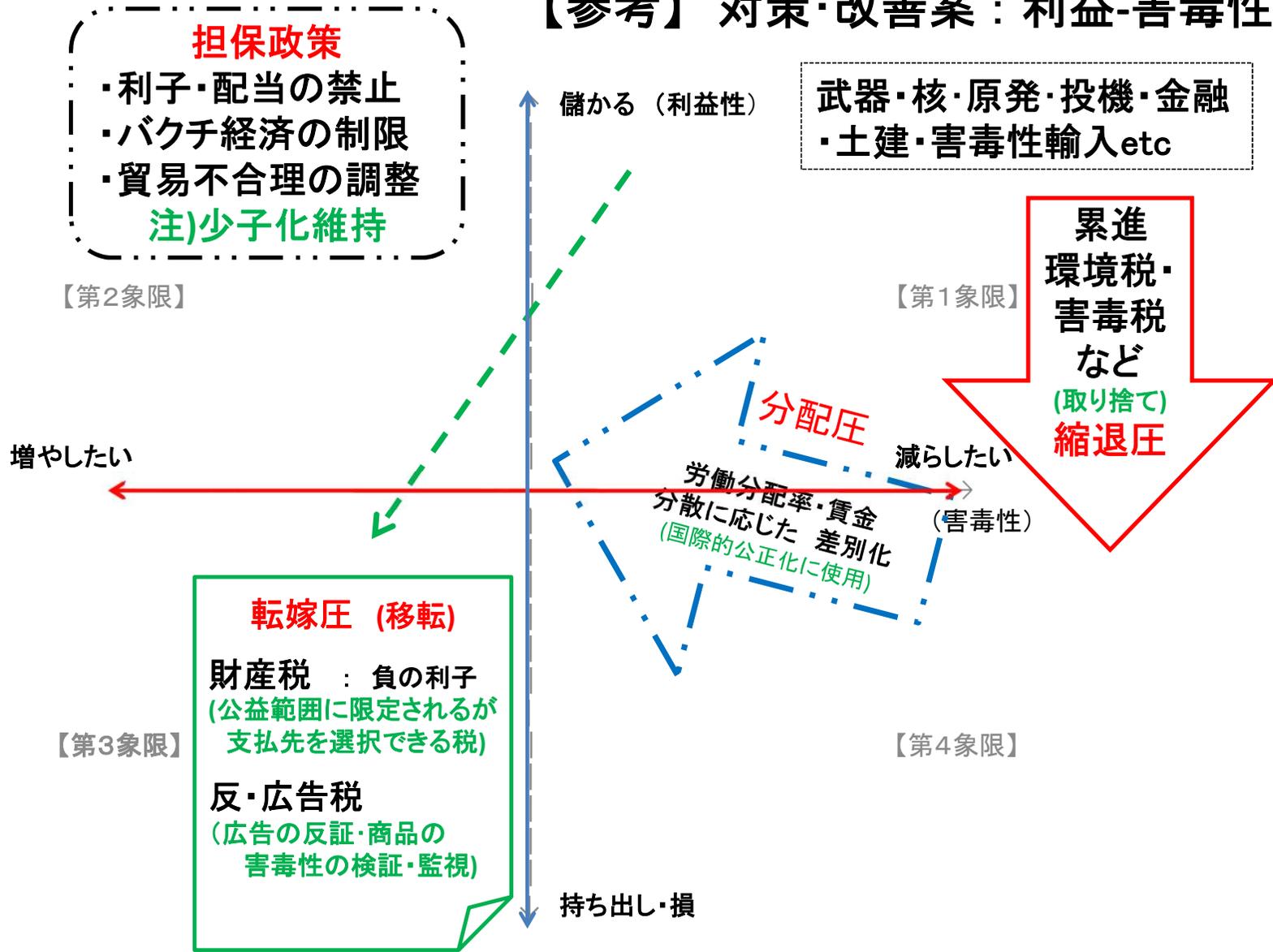
☆**環境破壊、戦争・侵略・搾取(移動)、奴隷化・貧困化 + グローバル化(貿易) + 破壊技術開発の歴史**☆

【参考】利益-害毒性相関図

各産業(活動)が配置されたとすると...



【参考】 対策・改善案：利益-害毒性相関図



(余談) 温故知新 (孫子) / 兵を「感染症や災害対応」と読み替えると・・・

- 兵は国の大事 / 存亡の道なり・察せざるべからず(始計篇)：・・・そのまま

五つの基本問題：これを知る者は勝ち、知らざる者は勝たず

道：民をして上下同じくせしむるなり / → 国民と政府が共通理解・一心同体

天：陰陽、寒暑、時制なり / → 気候・気候変動(対策)、時期等に応じた対応

地：遠近、険易、広狭、死生なり / → 住環境、地形に応じた対応

将：智、信、仁、勇、嚴なり / → 将：「医療・防災」行政・政策(の指導者) に求めるもの

法：曲制、官道、主用なり / → 法： 法律のみならず、様々な制度、社会システムの整備

七つの基本条件：何れが有能なる//これを以って勝負を知る→優れた国が感染症等危機に強い

主：政治指導者 / 将・天地：(上記) / 法令：(上記)+行政指導等 /

※兵卒：医療・医療政策に関わる人 / 賞罰：評価・継続的改善のシステム

- 彼を知り己を知れば・・・(謀攻篇)：ウイルスを知り、「ヒトの問題」の理解
- 百戦百勝は善の善なるものに非ず / 戦わずして勝つ(謀攻篇)： → 事前対応、共生を目指す優先性
- 善く戦う者は、勝ち易きに勝つ者なり(謀攻篇) / 先ず勝ちて而る後に勝ちを求む(軍形篇)：
→ 合理的な日常の対策、事前に準備を整えておく重要性
- 兵は・・・千金に費やして・・・/兵は拙速を聞く(作戦篇)： → そのまま&事前対策の必要性
- 兵の形は水に象る(虚実篇) / 十なれば・・・(謀攻篇)： → 現状に即した対応、臨機応変・合理的対処

【参考】 等

- 開発教育協会（DEAR）教材『新型コロナウイルス感染症とわたしたち』
<http://www.dear.or.jp/books/book01/2645/>
- 【TVでおなじみ、ダニ博士が語る】新型コロナウイルス発生の裏にある“自然からの警告”
<https://www.youtube.com/watch?v=1g3Y36z772Q>
- コロナパンデミックの原因は「動物の軽視」 霊長類学者グドール氏
<https://www.afpbb.com/articles/-/3278221?page=2>
- 厚生労働省：新型コロナウイルス感染症について：
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引 第2版（厚生労働省）
<https://ajhc.or.jp/siryu/20200518-3.pdf>
- 山内一也「ウイルスと地球生命」（岩波科学ライブラリー）2012.岩波書店
- 「Newton 2020年5月号(ニュートンプレス)」p.10-21（PCR検査:p.13）
- 参照：「週刊現代 2020年5|2・9号」.講談社(p.44-49) 『なぜ死者数少ない』
- 「Newsweek 2020 3・17号」.CCCメディアハウス(p.18-23) 『人類と感染症、戦いと共存の歴史』
- 石弘之「感染症の歴史」.2018.角川書店
- 安田喜憲「森と文明の物語 - 環境考古学は語る」1995.ちくま書房(p.90-100) 『ヘロポネソス戦争と森』 他
- 守屋洋「孫子の兵法」三笠書房(文庫化)
- 日本獣医学会「人獣共通感染症 連続講座 第159回」：<https://www.jsvetsci.jp/veterinary/zoonoses/159.php>
- 長谷川英祐「縮む世界でどう生き延びるか？」2013.メディアファクトリー-新書
-